

4月23日開催『新しい資本主義実現会議』提出資料

東京大学 柳川範之

それぞれが望む形で、より一層活躍できる環境を整備することが、生産性の向上・実質賃金の引き上げ、経済の活性化およびウエルビーイングの向上にとって重要。

- ・そのためには、三位一体の労働市場改革をしっかりと進めることが不可欠
- ・特に、リ・スキリングの推進は重要

ただし、それぞれの状況によって、必要なリ・スキリングはかなり異なる

座学だけではない、AIやプログラミングを学ぶだけではない

現状の能力向上が必要な場合もあれば、追加的に異なる知見を得ることが役に立つ場合もある

それぞれの置かれた立場に応じたリ・スキリング支援政策を充実させる

- ・何を学べば未来につながるのか分からない
 - 企業側が、どのようなスキルがあれば、どんな仕事ができるかもっと明示する必要→ジョブ型人事指針の重要性
- ・適切なリ・スキリングの場を設ける
 - ステップアップに直結するような教育機関の充実
 - 副業・兼業を通じたリ・スキリング
- ・重点化が必要なリ・スキリング
 - 非正規と呼ばれる方々の能力向上策
 - 就職氷河期世代のスキルアップ支援
 - アドバンスド・エッセンシャルワーカーの育成

- ・ **科学技術・イノベーションの強化は、日本にとって重要な課題**

今までの取り組みに対する評価・検証

そして、世界全体の動きを踏まえた、戦略策定が重要

Top10%論文数等が注目されがちだが、すそ野をいかに広げるかという

視点も重要ではないか

- ・ **地方におけるイノベーション拠点づくりは重要**

どのような環境整備をすればイノベーション拠点となり得るか把握した

うえでの拠点づくりが求められる